



Title	荒川正晴教授 著述目録
Author(s)	
Citation	内陸アジア言語の研究. 2015, 30, p. 273-284
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70122
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

荒川正晴教授 著述目録 (1982～2014)

Publications of Masaharu ARAKAWA

(＊は共著・共編を示す)

I. 著書・編著

2003

01. 『オアシス国家とキャラヴァン交易』(世界史リブレット 62) 東京, 山川出版社, 2003年12月, 82p.

2010

02. 『ユーラシアの交通・交易と唐帝国』名古屋, 名古屋大学出版会, 2010年12月, 630p.

2014

03. *大阪大学歴史教育研究会(編)『市民のための世界史』吹田, 大阪大学出版会, 2014年4月, 311p.

II. 研究論文・概説論文

1982

01. 「唐代敦煌に於ける羅買について——ペリオ三四八号文書を中心として——」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』別冊8, 1982年3月, pp. 191-200.

1983

02. 「麹氏高昌国の官制について」『史觀』109, 1983年9月, pp. 29-43.

1986

03. 「麹氏高昌国における郡県制の性格をめぐって——主としてトウルファン出土資料による——」『史學雜誌』95-3, 1986年3月, pp. 37-74.

04. 「唐代河西の吐谷渾と墨離」『内陸アジア史研究』3, 1986年3月, pp. 50-62.

1988

05. 「唐の中央アジア支配と墨離の吐谷渾（上）——トウルファン・アスター出土の豆盧軍牒の検討を中心として——」『史滴』9, 1988年1月, pp. 25-48.

1989

06. 「唐の中央アジア支配と墨離の吐谷渾（下）——主に墨離軍の性格をめぐって——」『史滴』10, 1989年1月, pp. 19-42.
07. 「唐河西以西の伝馬坊と長行坊」『東洋学報』70-3/4, 1989年3月, pp. 35-69.
08. 「麹氏高昌國の遠行車牛について（1）・（2）——「高昌某年伝始昌等県車牛子名及給価文書」の検討を中心にして——」『吐魯番出土文物研究会会報』16, 1989年7月, pp. 77-80; 17, 1989年7月, pp. 86-88.

1990

09. 「トウルファン出土「麹氏高昌国時代ソグド文女奴隸売買文書」の理解をめぐって」『内陸アジア言語の研究』5, 1990年3月, pp. 137-153.
10. 「スタイン将来「蒲昌群文書」の検討——Ast.III.3.07, 08, 037号文書の分析を中心にして——」『西北史地』1990-2, 1990年6月, pp. 23-34.
〔中文訳〕「關於斯坦因《蒲昌群文書》的研究——以Ast.III.3.07, 08, 037号文書的分析為中心——」『西北史地』1990-2, 1990年6月, pp. 35-44. (谷祖綱／李桂蘭訳)
11. 「西域出土文書に見える函馬について（上）・（下）」『吐魯番出土文物研究会会報』40, 1990年7月, pp. 215-218; 41, 1990年7月, pp. 219-223.

1992

12. 「唐の対西域布帛輸送と客商の活動について」『東洋学報』73-3/4, 1992年3月, pp. 31-63.
〔中文訳〕「唐政府對西域布帛的運送及客商的活動」『敦煌學輯刊』1993-2, 1993年12月, pp. 108-118. (王忻訳, 李明偉校)
〔中文訳〕「關於唐向西域輸送布帛与客商的關係」『魏晉南北朝隋唐史資料』16, 1998年7月, pp. 342-353. (樂勝奎訳, 李少軍校)
13. 「唐代駅伝制度の構造とその運用（I～V・完）」『吐魯番出土文物研究会会報』79, 1992年8月, pp. 1-4; 80, 1992年9月, pp. 1-8; 81, 1992年10月, pp. 1-8; 82, 1992年11月, pp. 1-5; 83, 1992年12月, pp. 1-6.

1993

14. 「中央アジア地域における唐の交通運用について」『東洋史研究』52-2, 1993年9月, pp. 23-51.

1994

15. 「トウルファンの棉布生産とその流通」長澤和俊（編）『アジアにおける国際交流と地域文化』（平成4・5年度科学研究費補助金・総合研究（A）研究成果報告書）東京, 早稲田大学, 1994年3月, pp. 56-59.
16. 「トウルファン出土漢文文書に見える *ulay* について」『内陸アジア言語の研究』9, 1994年6月, pp. 1-25.
〔中文訳〕「關於吐魯番出土漢文文書中的 *ulay*」胡厚宜等（編）『出土文献研究』3, 北京, 中華書局, 1998年10月, pp. 198-211.（李德範／孫曉林訳）
17. 「唐代コータン地域の *ulay* について——マザル＝ターグ出土, *ulay* 関係文書の分析を中心にして——」『龍谷史壇』103/104, 1994年12月, pp. 17-38.
〔中文訳〕「唐代于闐的“烏駱”——以 *tagh* 麻扎出土有關文書的分析為中心——」『西域研究』1995-1, 1995年3月, pp. 66-76.（章瑩訳）

1995

18. 「北庭都護府の輪台県と長行坊——アスターーナ五〇六号墓出土, 長行坊関係文書の検討を中心として——」小田義久先生還暦記念事業会（編）『小田義久博士還暦記念東洋史論集』京都, 龍谷大学東洋史学研究会, 1995年7月, pp. 93-125.
〔中文訳〕「北庭都護府の輪台県和西州長行坊——以對阿斯塔那五〇六号墓所出土与長行坊有關文書的討論為中心——」『吐魯番学研究』2006-1, 2006年6月, pp. 132-148.（尹磊訳, 于志勇校）

1997

19. 「クチャ出土「孔目司文書」攷」『古代文化』49-3, 1997年3月, pp. 1-18, 2pls.
20. 「唐代トウルファン高昌城周辺の水利開発と非漢人住民」森安孝夫（編）『近世・近代中国および周辺地域における諸民族の移動と地域開発』（平成7・8年度科学研究費補助金・基盤研究（B）（2）研究成果報告書）豊中, 大阪大学, 1997年3月, pp. 49-64.
21. 「唐の州県百姓と過所の発給——唐代過所・公驗文書劄記（1）——」『史觀』137, 1997年9月, pp. 4-18.
22. 「唐帝国とソグド人の交易活動」『東洋史研究』56-3, 1997年12月, pp. 171-204.
〔中文訳〕「唐帝国和粟特人的交易活動」『敦煌研究』2002-3, 2002年6月, pp. 81-91.（陳海濤訳, 楊富学校）

1998

23. 「北朝隋・唐代における「薩寶」の性格をめぐって」『東洋史苑』50/51, 1998年1月, pp. 164-186.

1999

24. 「ソグド人の移住聚落と東方交易活動」樺山紘一他（編）『岩波講座世界歴史 15 商人と市場』東京, 岩波書店, 1999年3月, pp. 81-103.

2000

25. 「唐朝の交通システム」『大阪大学大学院文学研究科紀要』40, 2000年3月, pp. 199-331.
26. 「ヤールホト古墓群新出の墓表・墓誌をめぐって」『シルクロード学研究紀要』10, 2000年11月, pp. 160-170.

2002

27. 「魏晋南北朝隋唐期の通過公証制度と商人の移動」中国史学会（編）『中国の歴史世界——統合のシステムと多元的発展——』東京, 東京都立大学出版社, 2002年2月, pp. 337-349.
28. "The Transit Permit System of the Tang Empire and the Passage of Merchants." *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 59, 2002/3, pp. 1-21.
 [中文訳]「唐過所与貿易通道」『吐魯番学研究』2005-1, 2005年, pp. 40-49. (歐陽暉訳, 朱新校)
29. 「長行馬文書攷——大英図書館所蔵文書を中心として——」池田温（編）『日中律令制の諸相』東京, 東方書店, 2002年3月, pp. 379-405.

2004

30. 「トウルファン漢人の冥界觀と仏教信仰」森安孝夫（編）『中央アジア出土文物論叢』京都, 朋友書店, 2004年3月, pp. 111-126.
31. 「道路・国家与商人」『読書』2004-7, 2004年7月, pp. 160-165.
32. 「唐代前半の胡漢商人と帛練の流通」『唐代史研究』7, 2004年8月, pp. 17-59.
33. "Passports to the Other World : Transformations of Religious Beliefs among the Chinese in Turfan (Fourth to Eighth Centuries)." D. Durkin-Meisterernst, S. Raschmann, J. Wilkens, M. Yaldiz & P. Zieme (eds.), *Turfan Revisited -The First Century of Research into the Arts and Cultures of the Silk Road*, Berlin: Dietrich Reimer Verlag, 2004, pp. 19-21, 1pl.

2005

34. 「唐代粟特商人与漢族商人」『粟特人在中国——歴史・考古・語言的新探索——』(法國漢學 10) 北京, 中華書局, 2005 年 12 月, pp. 101-109.
35. "Sogdian merchants and Chinese Han merchants during the Tang Dynasty." In: É. de la Vaissière and É. Trombert (eds.), *Les Sogdiens en Chine*, Paris: École française d'Extrême-Orient, 2005, pp. 231-242.

2006

36. 「北朝隋唐初の在俗佛教信徒と五道大神」加地伸行博士古稀記念論集刊行会 (編) 『中国学の十字路——加地伸行博士古稀記念論集——』東京, 研文出版, 2006 年 4 月, pp. 509-523.

2007

37. 「遊牧民とオアシス民の共生関係とは何か——西突厥と麹氏高昌国のケースから——」桃木至期 (編) 『近代世界システム以前の諸地域システムと広域ネットワーク』(平成 16~18 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 研究成果報告書) 豊中, 大阪大学, 2007 年 3 月, pp. 28-48.
38. 「麹氏高昌国の王権とソグド人」記念論集刊行会 (編) 『福井重雅先生古稀・退職記念論集 古代東アジアの社会と文化』東京, 泊古書院, 2007 年 3 月, pp. 337-362.

2008

39. "Sogdians and the Royal House of Ch'ü in the Kao-ch'ang Kingdom." *Acta Asiatica (Bulletin of the Institute of Eastern Culture)* 94, 2008/2, pp. 67-93.
40. 「遊牧国家とオアシス国家の共生関係——西突厥と麹氏高昌国のケースから——」『東洋史研究』67-2, 2008 年 9 月, pp. 34-68.

2009

41. 「唐代中央アジアにおける帖式文書の性格をめぐって」土肥義和 (編) 『敦煌・吐魯番出土漢文文書の新研究』東京, 東洋文庫, 2009 年 3 月, pp. 271-291.
42. 「麹氏高昌国の灌溉水利と税役」『西北出土文献研究』7, 2009 年 3 月, pp. 19-41.

2011

43. "Aspects of Sogdian Trading Activities under the Western Turkic State and the Tang Empire." *Journal of Central Eurasian Studies* 2, 2011/5, pp. 25-40.
44. 「唐代の交通と商人の交易活動」鈴木靖民／荒井秀規 (編) 『古代東アジアの道路と交通』東京, 勉誠出版, 2011 年 7 月, pp. 179-190.

45. 「唐の西北軍事支配と敦煌社会」『唐代史研究』14, 2011年8月, pp. 71-98.
46. 「唐代天山東部州府の典とソグド人」森安孝夫（編）『ソグドからウイグルへ——シルクロード東部の民族と文化の交流——』東京, 汲古書院, 2011年12月, pp. 47-66.
〔中文訳〕「唐代天山東部州府の典和粟特人」中国人民大学国学院（主編）『国学的伝承与創新——馮其庸先生從事教学与科研六十周年慶賀學術文集——』下冊, 上海, 上海古籍出版社, 2013年4月, pp. 952-966.
47. 「英國図書館蔵和田出土木簡の再研究——以木簡内容及其性質為中心——」朱玉麒（主編）『西域文史』6, 北京, 科学出版社, 2011年12月, pp. 35-47. (田衛衛訳, 西村陽子／栄新江校)

2013

48. "The Transportation of Tax Textiles to the North-West as part of the Tang-Dynasty Military Shipment System." *Journal of the Royal Asiatic Society* 23-2, 2013/4, pp. 245-261.

2014

49. 「トウルファンにおけるソグド人」森部豊（編）『ソグド人と東ユーラシアの文化交渉』（アジア遊学175）東京, 勉誠出版, 2014年8月, pp. 101-118.
50. 「西域長史文書としての「李柏文書」」白須淨真（編）『大谷光瑞とスヴェン・ヘデイン——内陸アジア探検と国際政治社会——』東京, 勉誠出版, 2014年9月, pp. 213-234.
51. 「大英図書館所蔵コータン出土木簡の再検討——木簡内容とその性格をめぐって——」『待兼山論叢』（史学篇）48, 2014年12月, pp. 1-22.

III. 雜纂（研究ノート・調査報告・書評・紹介・翻訳・学界動向など）

1983

01. *山本弘道／荒川正晴「文献案内」加藤九祚／長澤和俊／護雅夫『シルクロード』（読書マップ）東京, 筑摩書房, 1983年7月, pp. 297-346.

1986

02. [書評]「玉木重輝著『高昌国物語』」『東西交渉』17, 1986年3月, p. 51.
03. [書評]「鄧健吾著『敦煌行』」『東西交渉』19, 1986年9月, p. 42.

1989

04. 「阿斯塔那古墳群墳墓一覧表」『吐魯番出土文物研究会会報』8, 1989年3月, pp. 35-40; 9, 1989年3月, pp. 41-44; 10, 1989年4月, pp. 45-48.
05. 「哈拉和卓古墳群墳墓一覧表」『吐魯番出土文物研究会会報』11, 1989年4月, pp. 49-52.
06. 「学界動向」「1988年の歴史学界——回顧と展望——(内陸アジア1)」『史学雑誌』98-5, 1989年5月, pp. 269-275.
07. 「紹介」「候燦「高昌章和十三年朱阿定妻楊氏墓表出土時間・地点与有關問題論」」『吐魯番出土文物研究会会報』12, 1989年5月, p. 54.
08. 「紹介」「王琳「旅順博物館藏新疆出土錢幣」」『吐魯番出土文物研究会会報』12, 1989年5月, pp. 54-55.
09. 「紹介」「陳國燦「武周瓜・沙州地区的吐谷渾帰朝事迹」」『吐魯番出土文物研究会会報』13, 1989年5月, pp. 59-60.
10. 「紹介」「吳震「吐魯番出土の“敦煌文書”」」『吐魯番出土文物研究会会報』13, 1989年5月, pp. 60-61.
11. 「紹介」「王素「吐魯番所出武周時期吐谷渾帰朝文書史実考証」」『吐魯番出土文物研究会会報』13, 1989年5月, p. 61.
12. 「紹介」「周偉洲『吐谷渾史入門』」『吐魯番出土文物研究会会報』13, 1989年5月, pp. 61-62.
13. 「紹介」「柳洪亮「安西都護府治西州境内時期的都護及年代考」」『吐魯番出土文物研究会会報』13, 1989年5月, p. 62.
14. 「ア斯塔那古墳群墳墓一覧表——スタイン隊発掘墳墓——」『吐魯番出土文物研究会会報』14, 1989年6月, pp. 65-67.
15. 「学界動向」「1988年・日本の吐魯番学瞥見」『吐魯番出土文物研究会会報』15, 1989年6月, pp. 71-74.
16. 「新疆維吾爾自治区古代城址一覧表(I)・(II)——黄文弼の調査報告を中心として——」『吐魯番出土文物研究会会報』26, 1989年12月, pp. 125-130.; 27, 1989年12月, pp. 131-134.

1990

17. 「ア斯塔那・哈拉和卓古墳群墳墓一覧表」長澤和俊(編)『中央アジア史の再検討——新出史料の基礎的研究——』(昭和63年度科学研究費補助金・総合研究(A)研究成果報告書)東京, 早稲田大学, 1990年3月, pp. 59-87.
〔中文訳〕「ア斯塔那・哈拉和卓古墓群墓葬一覧表」『新疆文物』1992-2, 1992年5月, pp. 93-123. (孟憲実訳, 侯燦校)
18. 「紹介」「錢伯泉「高昌国郡縣城鎮の建置及其地望考実」」『吐魯番出土文物研究会会報』37, 1990年5月, pp. 193-194.

19. [紹介]「陳國燦「魏晉至隋唐河西胡人的聚居与火祆教」」『吐魯番出土文物研究会会報』37, 1990年5月, pp. 196-197
20. 「新疆維吾爾自治区古代城址一覽表(III)——黃文弼の調査報告を中心にして——」『吐魯番出土文物研究会会報』38, 1990年6月, pp. 199-203.
21. [紹介]「程喜霖「烽鋪考」」『吐魯番出土文物研究会会報』45, 1990年9月, pp. 246-247.
22. [紹介]「程喜霖「唐開元二十一年(733)西州都督府勘給過所案卷」校釈——兼論請過所程序与勘驗過所——」(下篇)『吐魯番出土文物研究会会報』45, 1990年9月, p. 247.
23. 「古書展に出品された北館文書について」『吐魯番出土文物研究会会報』50, 1990年12月, pp. 276-278

1991

24. 「阿斯塔那・哈拉和卓古墳群墳墓一覽補訂」『吐魯番出土文物研究会会報』53, 1991年1月, pp. 1-4.
25. *吐魯番出土文物研究会(編)『吐魯番出土文物研究情報集録——吐魯番出土文物研究会会報 1~50号——』([中央ユーラシア諸民族の歴史・文化に関する国際共同研究の企画・立案] №2) (平成2年度科学研究費補助金・総合研究(B) 研究成果報告書) 東京, 梅村坦発行, 1991年3月, 284p.
26. [紹介]「姜伯勤「敦煌新疆文書所記の唐代“行客”」」『吐魯番出土文物研究会会報』66, 1991年8月, pp. 5-6.
27. [紹介]「吳震「唐庭州西海県之置建与相關問題」」『吐魯番出土文物研究会会報』66, 1991年8月, p. 6.
28. 「南疆遺跡參觀報告(1)」『吐魯番出土文物研究会会報』70, 1991年11月, pp. 1-6.

1992

29. [紹介]「錢伯泉「從祀部文書看高昌麹氏王朝時期的祆教及粟特九姓胡人」」『吐魯番出土文物研究会会報』78, 1992年7月, p. 6.
30. [紹介]「魯才全「唐代前期西州的駅馬駅田駅牆諸問題——吐魯番所出館駅文書研究之二——」」『吐魯番出土文物研究会会報』81, 1992年10月, p. 8.
31. 「南疆遺跡參觀報告」『内陸アジア史研究』7/8, 1992年10月, pp. 10-20.
32. [翻訳]「樓蘭考古の新収穫」『内陸アジア史研究』7/8, 1992年10月, pp. 38-40.
33. 「吐魯番・烏魯木齊周辺地域の史跡について」『内陸アジア史研究』7/8, 1992年10月, pp. 66-93.
34. [紹介]「郭媛「試論隋唐之際吐魯番地区的銀錢」, 林友華「從四世紀到七世紀中高昌貨幣形態初探」, 宋傑「吐魯番文書所反映的高昌物価与貨幣問題」」『吐魯番出土文物研究会会報』83, 1992年12月, pp. 6-8.

1993

35. [紹介]「王永興「吐魯番出土唐天寶四載十一十二月交河郡財務案殘卷考計」」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 2-3.
36. [紹介]「程喜霖「唐垂拱元年(685)康尾義羅施等請過所案卷」考計」」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 3-4.
37. [紹介]「孫曉林「閔于唐前期西州設“館”的考察」」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, p. 4.
38. [紹介]「王永興「読吐魯番文書札記二則」」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 4-5.
39. [紹介]「柳洪亮「高昌碑刻述略」」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 5-6.
40. 「北疆遺跡參觀報告」『内陸アジア史研究』9, 1993年9月, pp. 24-35.
41. 「トウルファン漢文文書閲覧雑記」『内陸アジア史研究』9, 1993年9月, pp. 79-93.

1994

42. [翻訳]「Л=И=チュグイエフスキイ「ソ連邦科学アカデミー東洋学研究所所蔵, 敦煌写本における官印と寺印」」『吐魯番出土文物研究会会報』98/99, 1994年4月, pp. 1-14.
43. [紹介]「林梅村「粟特文買婢契与絲綢之路上的女奴貿易」」『吐魯番出土文物研究会会報』100, 1994年5月, pp. 6-8.
44. [書評]「山田信夫著, 小田壽典・P. ツィーメ・梅村坦・森安孝夫編『ウイグル文契約文書集成』I・II・III」『史学雑誌』103-8, 1994年8月, pp. 109-119.

1995

45. [学界動向] “Studies on Inner Asia I: The Pre-Mongol Period.” The National Committee of Japanese Historians (ed.), *Historical Studies in Japan (VIII) 1988-1992*, Tokyo: Yamakawa Shuppansha, 1995, pp. 167-173.

1996

46. 「中国主要遺跡ガイド(樓蘭故城・交河故城・高昌故城・アスター古墓群・タクラマカン沙漠の石窟寺院)」『しにか』7-1, 1996年1月, pp. 64-73.
47. 「ヤールホト古墓群の墓表・墓誌」長澤和俊(編)『中国新疆・トウルファン地区の総合的調査』(平成6~8年度科学研修費補助金・国際学術研究中間報告書) 東京, 早稲田大学, 1996年8月, pp. 19-27.

1997

48. 「出土史料より見た高昌国の仏教」『季刊文化遺産』4, 1997年10月, pp. 55-58.

1998

49. 「トウルファン文書を読み解く——文書に見える冥界の姿——」『しにか』9-7, 1998年7月, pp. 58-63.
50. 〔学界動向〕「最近五年（1993～1998）日本の唐代学術研究概況——敦煌・吐魯番学——」『中国唐代学会会刊』9, 1998年11月, pp. 181-197.

2000

51. *荒川正晴／關尾史郎「トウルファン出土文書調査記」『唐代史研究』3, 2000年6月, pp. 59-74.

2001

52. 〔学界動向〕「近年の日本におけるトウルファン研究——漢語文献を中心にして——」『中央アジア研究』6, 2001年12月, pp. 65-89.

2002

53. 「大谷探検隊とその将来品, 第3部 研究最前線…衣物疏」『本願寺新報』2002年9月1日, 7面.

2003

54. 『トウルファン出土文書および関連伴出資料の調査』(平成12～14年度科学研究費補助金・基盤研究(B) (1) 研究成果報告書) 豊中, 大阪大学, 2003年3月, 197p.

2004

55. 「コータンの「木ぶり」と「根ぱり」」『史滴』26, 2004年12月, p. 1.

2005

56. 「オアシス王国ホータン点描」NHK「新シルクロード」プロジェクト(編)『NHKスペシャル 新シルクロード 2 草原の道——風の民——・タクラマカン——西域のモナリザ——』東京, 日本放送出版協会, 2005年4月, pp. 208-223.

2006

57. 『東トルキスタン出土「胡漢文書」の総合調査』(平成15～17年度科学研究費補助

- 金・基盤研究（B）研究成果報告書）豊中, 大阪大学, 2006年3月, 122p.
58. 「調査の概略とコータン出土新出漢文文書」荒川正晴（編）『東トルキスタン出土「胡漢文書」の総合調査』（平成15～17年度科学研究費補助金・基盤研究（B）研究成果報告書）豊中, 大阪大学, 2006年3月, pp. 1-29.

2007

59. "Oasis States and Caravan Trade in Central Asia during Pre-Islamic Times (c. 3-9C.)." In: T. Katayama (ed.), *Course Records "History, Manners and Customs, and Interchange-Asia and Japan—" in the Osaka University Short-term Student Exchange Program (OUSSEP) 2006 Fall Semester*, Toyonaka: Osaka University, 2007/3, pp. 56-69.

2010

60. 「ソウル, シルクロード博物館参観記」『西北出土文献研究』8, 2010年5月, pp. 95-100.
61. 「書評」「李全德「天聖令」所見唐代過所の申請与勘驗——以“副白”与“錄白”為中心——」『法史学研究会会報』14, 2010年3月, pp. 116-117.
62. 「書評」「楊梅「唐宋宫廷藏冰制度の沿襲与变革——以《天聖令・雜令》宋12条為中心——」『法史学研究会会報』14, 2010年3月, pp. 128-129.

2011

63. 「紹介」「曾布川寛・吉田豊編『ソグド人の美術と言語』」『京都民報』2011年7月31日, 6面.
64. "China's View of the World." In: Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp.59-67.
65. "Xuan-zhuang, Bian-ji and Da-Tang Xi-yu-ji." In: Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp.151-152.
66. "Du You: The Tongdian." In: Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp. 153-154.
67. "Seiiki no Chizu: Map of China and Westward (8th Century)." Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp. 187-188.
68. 『東ユーラシア出土文献研究通信』1, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史料学の構築に向けて——」研究グループ, 2011年3月, 103p.

2012

69. 『東ユーラシア出土文献研究通信』2, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究
(A)「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史料学
の構築に向けて——」研究グループ, 2012年3月, 85p.
70. 〔学界動向〕“Chinese Research on Sources Excavated from Turfan Archeological Sites.”
Asian Research Trends, New series 7, Tokyo: The Toyo Bunko, 2012, pp. 19-40.

2013

71. 『東ユーラシア出土文献研究通信』3, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究
(A)「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史料学
の構築に向けて——」研究グループ, 2013年3月, 114p.
72. 「インド・イラン起源の諸宗教と中国」『歴史と地理』664 (世界史の研究 235)
2013年5月, pp. 1-13, 1pl.
73. 『ユーラシア東部地域における公文書の史的展開——胡漢文書の相互関係を視野
に入れて——』日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A)「シルクロード東
部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史料学の構築に向けて——」
研究グループ, 2013年9月, 156p.
74. 「ソグド商人と東西交易」岡本隆司 (編)『中国経済史』名古屋, 名古屋大学出版
会, 2013年11月, pp. 129-130.

2014

75. 〔Review〕“*The Silk Road: A New History*. By Valerie Hansen. New York: Oxford
University Press, USA, 2012.” In: *International Journal of Asian Studies* 11-1,
Cambridge: Cambridge University Press, 2014/1, pp. 118-120.